

第2次甲州市行政改革推進プログラム
平成23年度取組成果報告書

甲州市
平成24年9月

目 次

■ はじめに	1
■ 平成23年度における取組み項目数及び削減効果額の計画・実績比較表	2
■ 第2次甲州市行政改革推進プログラム 平成23年度の主な取組成果の概要	3
1 市民の納得度が高まる質の高い行政改革	3
1. 市役所窓口における待遇等のさらなる向上	3
2. 民間活力の活用	4～5
3. 市民と市政との情報共有化	6
2 経営の視点に基づく行財政運営	7
1. 事務事業の見直し	7～8
2. 適正な債権管理の推進	9
3. 経費削減等による健全な行財政運営	10
4. 特別会計の経営健全化	11
3 職員の意識改革	12
1. 組織機構の見直し	12
2. 人事評価制度の確立	12
3. 職員の資質の向上	13
4 市民との連携、協働によるまちづくり	14
1. 市民と行政の協働に基づく行政サービスの充実	14
2. 市民協働の推進	15
3. 男女共同参画の推進	15
4. 良好な生活環境・安らぎのある景観の整備	16
5. 甲州市の魅力をもとにPRする取り組みの促進	17
■ まとめ	18

■はじめに

甲州市では、平成22年度までの五ヵ年を実施期間とした「第一次行政改革」の取り組み内容について検証を基に、平成23年3月に「第二次甲州市行政改革大綱 実施計画（改革推進プログラム）」（平成23年度から26年度までの4ヵ年を推進期間とする。）を策定し、「協働、成果、効率を重視した市民の視点による甲州市政の推進」の基本理念を基に、市民誰もが将来に夢と希望をもち、安心して住み続けることができるまちづくりを目標に行政改革に取り組んでいます。

平成23年度は、112項目147事業において改革を推進しましたが、この度、平成23年度の取り組み状況とその成果がまとまりましたので、その概要を報告します。

行政改革の取り組み状況については、市民の方で構成されている行政改革推進委員会に報告され、意見や要望をいただき、その内容は、広報や市ホームページなどで公表します。

■平成23年度における取組み項目数及び削減効果額の計画・実績比較表

取組項目	事業計画区分と達成状況				効果額目標金額と実績金額	
	計画区分	数	実績区分	数	目標金額	実績金額
1 市民の納得度が高まる質の高い行政改革	本格実施すべき事業	26	◎達成22事業(84.6%) ○一部達成4事業(15.4%)	26	—	—
	一部を実施すべき事業	1	○一部達成1事業(100%)	1		
	調査検討に着手すべき事業	8	△調査検討着手7事業(87.5%) ○一部達成1事業(12.5%)	8		
	小計	35	小計	35		
2 経営の視点に基づく行財政運営	本格実施すべき事業	40	◎達成22事業(55.0%) ○一部達成18事業(45.0%)	40	82,384,600	96,190,447
	調査検討に着手すべき事業	21	△調査検討着手19事業(90.5%) ○一部達成2事業(9.5%)	21		
	小計	61	小計	61		
3 職員の意識改革	本格実施すべき事業	8	◎達成8事業(100%)	8	—	—
	一部を実施すべき事業	1	○一部達成事業(100%)	1		
	調査検討に着手すべき事業	3	△調査検討着手3事業	3		
	小計	12	小計	12		
4 市民との連携、協働によるまちづくり	本格実施すべき事業	30	◎達成24事業(80.0%) ○一部達成6事業(20.0%)	30	1,807,000	-4,961,129
	一部を実施すべき事業	1	○一部達成1事業(100%)	1		
	調査検討に着手すべき事業	8	△調査検討着手4事業(50.0%) ○一部達成3事業(37.5%) ◎達成1事業(12.5%)	8		
	小計	39	小計	39		
合計	本格実施すべき事業	104	◎達成76事業(73.1%) ○一部達成28(26.9%)	104	84,191,600	91,229,318
	一部を実施すべき事業	3	○一部達成3事業(100%)	3		
	調査検討に着手すべき事業	40	△調査検討着手33事業(82.5%) ○一部達成6事業(15.0%) ◎達成1事業(2.5%)	40		
	合計	147	◎77(52.4%) ○37(25.2%) △33(22.4%)	合計 147		

第2次甲州市行政改革推進プログラム 平成23年度の主な取組成果の概要

1 市民の納得度が高まる質の高い行政改革

計画及び実績評価記号について

【 ◎=達成 ○=一部達成 ◇=調査検討 ×=未着手 】

1. 市役所窓口における接遇等のさらなる向上

		実施期間中の実施項目		平成23年度の主な実績・評価指標等		H23 効果額の検証 (千円)		
			年度計画		進捗	計画	実績	
1	顧客志向の徹底	①市民サービス向上運動の実施	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様アンケートの実施、窓口対応を「良い」と回答した人の割合は増化(H22:85%~H23:86.2%)しているが、アンケート数が減少し更なる工夫が必要です。 ・新庁舎移転時に改定した接遇マニュアルを実践しています。 	○	—	—	
		②お客様アンケートの継続実施	◎		○			
		③接遇マニュアルの実践	◎		◎			
2	わかりやすく、早く、やさしい窓口の対応	①各種相談窓口の充実	市民生活課	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・無料法律相談については問題解決、結婚相談については成婚とする実績が乏しく、方法改善が必要です。 ・物忘れ相談(祉介護課)では利用者の満足度が高く好評です。 ・介護保険の申請理由として認知機能の低下に関するものが多く、市民のニーズに応じています。 ・納税相談(収納課)を実施しているが、実態としては滞納者への督促が主となるため、滞納者が減少するための相談への転換が必要です。 ・ママの安心テレホン事業(健康増進課)は核家族化が進む社会にあって妊産婦の悩み事を解決する手法として有効であり、利用者調査では8割以上の方から事業の継続を求められています。 	○	—	—
			福祉介護課	◎		◎		
			税務課	◎		○		
			健康増進課	◎		◎		
		②申請書等の統一の検証	市民生活課	◇	<ul style="list-style-type: none"> ・様式の統一、簡略化等(市民生活課・税務課)については、使用目的や本人確認などに厳格性をもつ中で、利用者の視点での簡略化検討に着手しました。 	◇		
			税務課	◇		◇		

1 市民の納得度が高まる質の高い行政改革

計画及び実績評価記号について

【 ◎=達成 ○=一部達成 ◇=調査検討 ×=未着手 】

2. 民間活力の活用

		実施期間中の実施項目		平成23年度の主な実績		H23 効果額の検証 (千円)		
			年度計画		進捗	計画	実績	
1	指定管理者制度の活用	①指定管理者制度の適用拡大	鈴宮寮	◇	・鈴宮寮については、施設会計での採算性の向上を視野に、指定管理者制度の導入を含めた新たな運営方針の検討に着手しました。	◇	—	—
			②指定管理者制度の充実	塩山B&G海洋センター	◎	・当該施設は、制度導入後利用者が増加し、好調な運営を維持しています。		
		勝沼健康福祉センター		◎	・各施設は、平成23年度より3期目の制度運用となり、仕様書の改定や管理者との協議により利用者のニーズにあった運営形態となっています。 ・勝沼健康福祉センターと菱山宮農センターを除き、新たな管理者が選定されました。	◎		
		大和福祉センター		◎		◎		
		大和デイサービスセンター		◎		◎		
		菱山宮農センター		◎		◎		
		大和自然学校		◎		◎		
		天目山温泉		◎		◎		
		日川溪谷緑の村		◎		◎		
		大菩薩の湯		◎		◎		
		勝沼病院	◎	・当該2施設は、平成24年度からの管理者の選定を行いました。		◎		
農産物加工体験施設	◎	・農産物加工体験施設と道の駅甲斐大和の2施設は平成23年度より3期目の運用が開始されましたが、管理者の解散により平成24年度は市直営とし、平成25年度以降に再度制度導入を図ります。	◎					
道の駅甲斐大和	◎	・し尿処理施設は、平成23年度から新たに制度を導入した結果、人件費相当の大幅な削減効果が得られました。	◎					
し尿処理場	◎							
2	民間委託等の推進	①各種業務の民間委託の検討	給食センター	◇	・給食センターは、新施設の建設計画にあわせ、一部民間業務委託を含めた新たな運営方針の検討に着手しました。	◇	—	—
			児童クラブ	◇	・児童クラブは直営ですが、地域子育て支援センターは民間委託で運営しています。今後は保育所、小学校との連携を強化し、民間委託を含めた運営方法を検討します。	○		
		②PFI手法の導入や市場化テストについての研究・検討		◇	・ぶどうの丘事業への民間資本の活用について、検討に着手しました。	◇		

1 市民の納得度が高まる質の高い行政改革

計画及び実績評価記号について

【 ◎=達成 ○=一部達成 ◇=調査検討 ×=未着手 】

2. 民間活力の活用（続き）

		実施期間中の実施項目		平成23年度の主な実績		H23 効果額の検証 (千円)	
			年度計画		進捗	計画	実績
3	効果的な委託業務の見直し	①すでに各課で委託している事業についての見直し	◇	<ul style="list-style-type: none"> 各課の委託業務について一覧表を作成、内容に応じて経常的な委託と臨時的な委託に区分する作業に着手しました。 平成24年度において経常的な委託業務について調書を作成し、本格的な見直し作業に入ります。 「民間の力が発揮されやすくするための支援」と連動して検討します。 	◇	—	—
4	民間の力が発揮されやすくするための支援	①民間の力が発揮されやすくするための支援	◇	<ul style="list-style-type: none"> 「委託事業の見直し」と連動して検討していきます。 	◇	—	—

1 市民の納得度が高まる質の高い行政改革

計画及び実績評価記号について

【 ◎=達成 ○=一部達成 ◇=調査検討 ×=未着手 】

3. 市民と市政との情報の共有化

		実施期間中の実施項目		平成23年度の主な実績		H23 効果額の検証 (千円)	
			年度計画		進捗	計画	実績
1	電子化・情報化の推進	①情報セキュリティの徹底	◎	・情報セキュリティ研修会を実施しました。(3回) ・平成24年2月より市内電算システムを再構築し、職員カードによるログイン管理やE-mail 添付文書のロック機能を付加し、セキュリティを強化しました。	◎	—	—
		②申請等の電子化促進	◎	・市ホームページにおいて電子申請ポータルサイト「やまなしくらしねっと」にリンクしています。 ・書類等のダウンロードを拡充しています。 ・インターネット確定申告を推進しています。	◎		
		③効果的な情報ネットワーク利用の促進	◎	・ネットワーク研修会を実施しました。(8回) ・行政防災無線のデジタル化を推進し、平成24年度以降に実施することを決定しました。	◎		
2	透明性の向上	①情報公開条例の適正な運用	◎	・情報開示請求10件に対し内容を精査の上すべての案件を開示としました。	◎	—	—
		②審議会・委員会等会議公開の推進	◎	・審議会等会議の公開を推進し、その資料をホームページに掲載しています。(30件)	◎		
		③要望・苦情等の情報化の共有化、対応の仕組みづくり	○	・要望、苦情等の情報の共有化シートの試行を開始、個人情報保護も念頭に今後の拡充方針を決定します。	○		
3	情報の共有化	①ホームページ、CATVを活用した情報の共有化	◎	・CATV放送「甲州市からのお知らせ」を放送し、市の情報発信を行いました。 ・緊急性の高い情報や災害情報については、防災行政無線による広報を行いました。(138件) ・市ホームページのリニューアルを行い、平成24年4月から公開を開始しました。	◎	—	—

2 経営の視点に基づく行財政運営

計画及び実績評価記号について

【 ◎=達成 ○=一部達成 ◇=調査検討 ×=未着手 】

1. 事務事業の見直し

	実施期間中の実施項目	年度計画	平成23年度の主な実績		H23 効果額の検証 (千円)			
				進捗	計画	実績		
1	事務事業評価による業務改善	①事務事業評価による業務改善	◎	・事務事業評価シートを作成し、各事務事業の進捗管理、実績確認、改善等に活用しました。(238事業)	◎	—	—	
		②第三者評価による事務事業の整理	◎	・第三者評価事業を実施し、8事業について評価をいただきました。(拡大・充実1事業、方法改善7事業)	◎			
		③新しい財源の 検討	政策秘書課	◇	・都市計画税の見直し業務に着手しました。			◇
			税務課	◇				◇
			産業振興課	◇				◇
		④投票所の統合・再編	◇	・起業支援を含めた企業誘致業務の見直しに着手しました。	◇			
		⑤公共交通の再編	◇	・行政区、学区の改編を視野に入れた検討に着手しました。	◇			
		⑥高齢者サービスの見直し	◇	・新たな公共交通(デマンドバス)運行実証を行いました。	○			
		⑦市営住宅料基準の見直し	◇	・介護保険や訪問介護など個別事業で行われる各種サービスの連携と効果的な運用の検討に着手しました。	◇			
								・収入基準、空き部屋対策、特高賃の準特化についての見直しに着手しました。
		⑧保育所運営の見直し	◇	・小学校、児童センター等の子ども関連施設との連携及び保育所の統廃合について見直しに着手しました。 ・菱山保育所について閉園(東雲保育所に統合)にかかる説明会を実施しました。	○			
		⑨支払い案内状の見直し	◇	・支払い案内状の送付費用と通帳印字の費用の比較と効果について検討に着手しました。 ・補助金交付決定通知等、課と担当部署、金額が特定可能な支払いから案内状が廃止可能か検討に着手しました。	◇			
		⑩電子決裁の検討	◇	・電子決済と文書管理システムを一体的に捉えたシステムの導入について検討に着手しました。	◇			
		⑪文書管理システムの検討	◇		◇			
⑫イベントの見直し	◇	・既存のイベント見直しと、協働による新たなイベントの立ち上げについて検討に着手しました。	◇					
⑬地域総合局の あり方	勝沼地域総合局	◎	・勝沼地域総合局の改修を決定しました。(H24 着工)	○				
	大和地域総合局	◎		○				
⑭交流事業の見直し	◇	・交流の目的や効果を検証し、必要に応じた見直しを行うべく検討に着手しました。	◇					

2 経営の視点に基づく行財政運営

計画及び実績評価記号について

【 ◎=達成 ○=一部達成 ◇=調査検討 ×=未着手 】

1. 事務事業の見直し（続き）

		実施期間中の実施項目		平成23年度の主な実績		H23 効果額の検証 (千円)		
			年度計画		進捗	計画	実績	
2	未利用施設・ 財産の活用及 び処分	①未利用財産等の売り払い	◎	・未利用財産売却を実施しました。(5件7,881千円)	◎	6,142	7,881	
		②空き庁舎等の活用	管財課 政策秘書課	◇ ◇	・全庁的に活用方法を検討することとして公共施設活用検討委員会での検討に着手しました。	◇ ◇		
		③公有財産の実態把握のための既存公有財産台帳の再整理		◎	・既存公有財産台帳の再整備に取り組んでいます。	○	—	—
		④運動器具の活用	塩山保健福祉センター 大和福祉センター	◎ ◎	・現状の活用方法を継続する中で、新たに効率的な活用方法の検討に着手しました。	○ ○		
3	入札・契約制 度の改善	①随意契約基準の徹底	◎	・随意契約ガイドラインの策定し適正な契約執行を行っています。	◎			
		②入札・契約透明性の確保	◎	・一般競争入札及びプロポーザル方式による入札を実施しました。 ・入札情報及び結果につきましては市ホームページで公開しています。	◎	—	—	
4	広域行政の推 進	①広域行政の推進	◇	・新たな広域行政の進め方に点検に着手しました。 ・廃棄物の広域処理にかかる検討を継続しています。	◇	—	—	

2 経営の視点に基づく行財政運営

計画及び実績評価記号について

【 ◎=達成 ○=一部達成 ◇=調査検討 ×=未着手 】

2. 適正な債権管理の推進

		実施期間中の実施項目		平成23年度の主な実績	進捗	H23 効果額の検証 (千円)		
			年度計画			計画	実績	
1	税のさらなる 収納率の向上	①市民税等のさらなる収納率の向上		◎	◎	4,015	12,704	
2	未集金の解消	①未集金の解消	市営住宅	◎	・納付勧奨員制度を新設し臨戸勧奨を進めた結果、未集金の収納額が向上しました。	◎	128	3,280
			保育料	◎		○	—	—
			水道使用料	◎	・滞納者リストによる債権管理に取り組み、甲州市収納対策連絡会議にて収納対策の強化を図りました。	○	613	4,767
			下水道使用料	◎		○	-331	1,141

2 経営の視点に基づく行財政運営

計画及び実績評価記号について

【 ◎=達成 ○=一部達成 ◇=調査検討 ×=未着手 】

3. 経費削減等による健全な行財政運営

		実施期間中の実施項目		平成23年度の主な実績			H23 効果額の 検証(千円)	
			年度計画		進捗	計画	実績	
1	財政の効率化・健全化	①補助金の見直し	◇	<ul style="list-style-type: none"> 各課の補助事業の洗い出し作業に着手しました。 平成24年度では補助金調書を作成する予定です。 ホームページ等で周知し、納税(寄附)額が増額となりました。 行革プログラム、財務規則を遵守しより効率的な運用を心がけ、財政状況は改善傾向にあります。 負担を求める事業を精査し、適正な受益者負担金制度を構築するための検討に着手しました。 企業会計的な「発生主義」の手法を取り入れた財務書類4表をホームページにて公開しています。 収入額が減少しており新規広告主の獲得と、料金改定を含めた検討にも着手しました。 償還計画に基づく償還と未収金の回収に取り組みました。 強化発展計画の進捗が図られるよう助言等を行いました。 平成23年度末にて解散が決定(まほろば財団) 	◇			
		②ふるさと納税増化への取組み	◎		◎	4,000	4,160	
		③起債や基金の効率的な運用	◎		◎			
		④受益者負担金の適正化	◇		◇	—	—	
		⑤財政事情等のわかりやすい公開	◎		◎			
		⑥広告収入の拡充	◎		○	12	-47	
		⑦外郭団体等の効率的運用及び改善	◎		◎	◎	—	—
2	定員管理、給与体系の適正化	①給与体系の適正化	◎	<ul style="list-style-type: none"> 特別職給与抑制措置、管理職手当抑制措置、時間外手当抑制措置を継続実施しています。 技能労務職員退職者の22条再雇用にて人件費を抑制しています。 給与、定員管理の状況のホームページ掲載 早期退職者制度の継続実施 	◎	2,003	2,003	
		②定員管理の適正化	◎		◎	—	—	
		③嘱託職員等の活用	◎		◎	3,266	3,266	
		④定員・給与状況の公表	◎		◎	—	—	
		⑤早期退職者制度の継続	◎		◎	58,838	58,838	
3	経常経費の削減	①公用車の効率化	◎	<ul style="list-style-type: none"> 管財課による公用車両の集中管理を継続し、効率的な相互利用を推進した結果、前年より2台減となりました。 消耗品(46品目)の一括購入を推進しました。 新庁舎移転後初の通年庁舎管理で一時的にコストが増加していますが、今後の削減が見込めます。 エコオフィスプランを推進し、照明の間引き、空調の一元管理を実施しています。 	◎	212	147	
		②消耗品の一括購入のさらなる推進	◎		○	-237	-276	
		③適切なコスト削減	◎		○	3,544	-1,673	
		④エコオフィスプランの推進	◎		○	—	—	

2 経営の視点に基づく行財政運営

計画及び実績評価記号について

【 ◎=達成 ○=一部達成 ◇=調査検討 ×=未着手 】

4. 特別会計等の経営健全化

		実施期間中の実施項目		平成23年度の主な実績		H23 効果額の検証 (千円)		
			年度計画		進捗	計画	実績	
1	効率的運営と 透明性の確保	①中期経営計画 の策定・実施	水道事業 ----- 下水道事業 ----- ぶどうの丘事業	◇ ◇ ◇	・各事業の中長期経営計画策定に取り掛かりました。 ・特に水道事業と下水道事業の連携を図ります。	◇ ◇ ◇	—	—
2	水道事業	①給水体制の充実 ----- ②水道事業の着実な運営		◎ ◎	・事業の安定運営とさらなる拡充を目指し、具体的な施策 については中長期経営計画に定めることとします。	○ ○	—	—
3	下水道事業	①地域の実情に応じた下水・廃水処理 施設の整備		◎		○	—	—
4	病院事業	①勝沼病院の着実な運営		◎	・公立病院改革プランにより安定運営を図ります。 ・指定管理者制度により安定経営を継続します	◎	—	—
5	ぶどうの丘事 業	①ぶどうの丘事業の着実な運営		◎	・事業の安定運営とさらなる拡充を目指し、具体的な施策 については中長期経営計画に定めることとします。	○	—	—
6	国民健康保険 事業	①国民健康保険 事業の着実な運 営	健康増進課	◎	・ジェネリック医薬品の利用や各種予防教室等を推進し、 市民の健康増進を図ることにより効率的な運営を進めま した。 ・国保税の公平な賦課徴収に努め、収納率を向上しました。	◎	150	0
			収納課	◎		◎		
7	介護保険事業	①介護保険事業の着実な運営		◎	・福祉全般との連携し各種教室や相談会を実施することで 要介護度の軽減に繋がる保険事業を継続しました。	◎	—	—
8	訪問看護事業	①訪問看護事業の着実な運営		◎	・在宅療養を支えるサービスとして医療機関、居宅介護事 業者等と連携し、事業の安定運営を推進しました。	◎	—	—

3 職員の意識改革

計画及び実績評価記号について

【 ◎=達成 ○=一部達成 ◇=調査検討 ×=未着手 】

1. 組織機構の見直し

		実施期間中の実施項目		平成23年度の主な実績		H23 効果額の検証 (千円)	
			年度計画		進捗	計画	実績
1	時代に即応した組織体制の整備	①市民にとってわかりやすく利用しやすい組織機構	◇	<ul style="list-style-type: none"> 各種法改正や新法、地域主権への移行に対応するための組織体制について検討に着手しました。 平成24年度に実施する機構改革（平成25年度体制）への反映を予定しています。 	◇	—	—

2. 人事評価制度の確立

		実施期間中の実施項目		平成23年度の主な実績		H23 効果額の検証 (千円)	
			年度計画		進捗	計画	実績
1	人事評価制度の取り組みの推進	①勤務実績を的確に反映する人事評価制度	○	<ul style="list-style-type: none"> 人事評価制度の試行を継続し、本格導入への準備態勢を整えています。 経常的な事務事業や具体的な効果数値が現れにくい事業について、適正な評価指標を定める検討に時間を要しています。 各職員には異動希望調査を行い、これまでの所属部署及び希望する部署を確認しています。 各課長には勤務実績や能力、適正等についてヒアリングを行い、本人希望も含めて総合的に判断した上での配置を行っています。 	○	—	—
		②職員の適正配置	◎				

3 職員の意識改革

計画及び実績評価記号について

【 ◎=達成 ○=一部達成 ◇=調査検討 ×=未着手 】

3. 職員の資質向上

		実施期間中の実施項目		平成23年度の主な実績	進捗	H23 効果額の検証 (千円)	
			年度計画			計画	実績
1	職員全体のレベルアップ	①職員研修の充実・多様化	◎	<ul style="list-style-type: none"> 職員研修を開催し、職員のレベルアップを図りました。(3回・延640人) 市町村(県)職員研修所が実施する施策・目的別の各研修を斡旋し、積極的な参加を推進しました。 副市長、財政課長を講師とする学習会を開催し、有益な知識や共通認識を深めました。 	◎	—	—
		②働きやすい職場環境の整備	◎		◎		
		③職員が講師となった研修会の開催	◎		◎		
2	広い行政能力・専門知識の習得	①プロジェクトチーム・自主研究会の活用	◎	<ul style="list-style-type: none"> 景観計画の策定に寄与することを目的とした、職員有志による「景観を生かしたまちづくり研究会」の活動を行いました。 市町村(県)職員研修所が実施する施策・目的別の各研修を斡旋し、積極的な参加を推進しました。 	◎	—	—
		②精通した知識を持った職員の養成・活用	◇		◇		
3	意欲を持ち、市民に信頼される職員の育成	①業務改善運動・職員提案制度の推進	◎	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度予算要求において、削減により確保された予算額の一部を再現とし、職員の提案により事業化される「インセンティブ予算制度」を導入しました。 インセンティブ予算は10件の提案があり、9件が採用されました。 副市長、財政課長を講師とする学習会では、先輩からの職員としてのあり方を学びました。 新採用職員を中心に若年職員を対象とする研修を実施し、自治体職員としての倫理の徹底を指導しました。 	◎	—	—
		②職員倫理の徹底	◎		◎		
4	人材育成の推進	①「甲州市人材育成基本方針」に沿った人材育成の推進	◎	<ul style="list-style-type: none"> 方針に基づき、階層に応じた研修を実施し、人材の育成を推進しています。 異動希望及び課長ヒアリングを参考に、計画的に窓口業務を経験するよう検討しています。 	◎	—	—
		②職員の計画的な窓口業務の経験	◇		◇		

4 市民との連携、協働によるまちづくり

計画及び実績評価記号について

【 ◎=達成 ○=一部達成 ◇=調査検討 ×=未着手 】

1. 市民と行政の協働に基づく行政サービスの充実

	実施期間中の実施項目	年度計画	平成23年度の主な実績		H23 効果額の検証 (千円)		
			進捗	計画	実績		
1	協働に関する指針に沿った推進	①「協働のまちづくりを進める基本方針」内容の周知	◎	・協働のまちづくり委員会の活動を通して「協働によるまちづくり」をPRしました。	○	—	—
		②市民が主体的に市政に参加する機会の充実	◎	・協働のまちづくり支援制度事業（補助金事業）を制度創設し、平成24年度から事業化することとしました。	○		
2	住民自治の推進	①まちづくり支援センターの設置検討	◇	・空き庁舎の活用と地域総合局機能とを合わせて、市民協働の推進拠点としての設置を検討着手しました。	◇	—	—
		②行政区の再編	◇	・行政区、学区の改編を視野に入れた検討に着手しました。	◇		
		③地域安全活動の促進	◇	・説明会や研修会を開催し市内各地区に自主防災組織が設立されるよう要請しました。 ・地区の申請により防犯灯を設置しました。	◇		
		④地域づくりの拠点となる公民館活動の促進	◎	・各地区公民間では積極的に自主的な活動が行われており、これを推進しました。(延3,188人)	◎		
3	子育て支援・高齢者福祉サービスの充実	①保健師等による子育て支援の継続・充実	◎	・マタニティクラス事業では、保健師及び助産師による妊婦への保健指導を行いました。 ・ママのあんしんテレホン事業では、延833回の相談を受け付け、妊産婦の不安を解消しました。	◎	—	—
		②地域で子育てを支える取り組みの支援	◎	・地域子育て支援センターを市内4箇所に設置し、保育所入所前の児童とその保護者を支援しています。 ・ファミリーサポートセンター事業では、市民の協力の下、一時預かり支援等を実施しています。	◎		
		③市と市民、地域が協力して行う高齢者サービスや地域におけるネットワークづくりの充実	◎	・災害時地域要援護者台帳を整備し、有事の際の互助体制を構築しました。	◎		
		④地域全体で「福祉のまちづくり」に取り組むことができるような一体的な支援の推進	◇	・福祉のまちづくり事業の推進し、社会福祉協議会、老人クラブ連合会、身体障害者連合福祉会等と連携を協議しました。	◇		

4 市民との連携、協働によるまちづくり

計画及び実績評価記号について

【 ◎=達成 ○=一部達成 ◇=調査検討 ×=未着手 】

2. 市民協働の推進

		実施期間中の実施項目		平成23年度の主な実績		H23 効果額の検証 (千円)	
			年度計画		進捗	計画	実績
1	パブリックコメント制度の運用	①パブリックコメント制度の積極的な運用	◎	・環境基本計画、第2次食育推進計画、景観計画、第5期高齢者福祉計画・介護保険事業計画、森林整備計画にパブリックコメントを実施し、市民意見を反映しました。	◎	—	—
2	広聴・広報活動の充実	①広聴・広報活動の充実	◎	・HPリニューアル事業を実施し、平成24年4月からの運用を開始しました。 ・テーマ別市民懇談会を開催し、市民の意見をお聞かせいただきました。	◎	—	—

3. 男女共同参画の推進

		実施期間中の実施項目		平成23年度の主な実績		H23 効果額の検証 (千円)		
			年度計画		進捗	計画	実績	
1	「フルーティ夢プラン」に沿った推進	①意識改革による男女共同参画の推進	◎	・市の審議会等について、積極的に女性委員を採用しその割合が増加しました。(H22:18.7%⇒H23:19.2%)	◎	—	—	
		②総合的子育ての支援	子育て対策課	◎	・ファミリーサポートセンター事業、地域子育て支援センターにより、専門家とボランティアによる支援を行いました。			◎
			市民生活課	◎	・男女共同参画による積極的な子育てを啓発しました。			○
			健康増進課	◎	・夫婦参加のマタニティクラスを年4回実施し、父親の積極的な子育てを啓発しました。			○
		③人権尊重意識の高揚	◎	・男女共同参画を推進し、性別等によらない人権意識の高揚を推進しました。	○			
④審議会等への女性が参加しやすい体制の整備	◎	・各種会議において、開催の時間等に配慮しました。	○					

4 市民との連携、協働によるまちづくり

計画及び実績評価記号について

【 ◎=達成 ○=一部達成 ◇=調査検討 ×=未着手 】

4. 良好な生活環境・安らぎのある景観の整備

	実施期間中の実施項目	年度計画	平成23年度の主な実績	H23 効果額の検証 (千円)		
				進捗	計画	実績
1 良好な環境・景観等の 保持の取組み	①「甲州市景観計画」の策定	○	・甲州市景観計画(案)を作成し、平成24年度に本制定及び景観条例並びにガイドラインを制定することとしました。	○	—	—
	②河川調査(水質・生態系調査)の継続	◎	・「川ある〜き」事業を実施し、小学生の川遊びを通して市と県、大学等機関が連携し水質・生物調査を行いました。	◎	—	—
	③不法投棄の監視	◎	・不法投棄監視員によるパトロール活動を強化しました。(不法投棄の発見が増加したことにより支出増となりましたが、環境への貢献がなされました。)	◎	30	-220
	④温室効果ガスの削減	◎	・甲州市環境基本計画を策定しました。	◎	—	—
	⑤事業系ごみ処理方法の徹底	◎	・家庭ごみとして廃棄される事業系廃棄物の監視を強化しました。	◎	239	-2,380
	⑥ごみ減量化	◎	・各地区リサイクルステーションによる報奨金制度を実施し、ごみ減量化を啓発しました。	◎	1,538	-2,361
	⑦新エネルギー取り組みの推進	◎	・太陽光発電設備設置補助事業を制度設計し、平成24年度から実施することとしました。	◎		
	⑧地域文化の保存・伝承	◎	・勝沼氏館跡環境整備報告書を刊行、旧田中銀行一般公開し、地域文化の保全継承に努めました。	◎	—	—
	⑨耕作放棄地の再生利用	◎	・耕作放棄地でひまわりを栽培し、環境美化を推進しました。	◎		

4 市民との連携、協働によるまちづくり

計画及び実績評価記号について

【 ◎=達成 ○=一部達成 ◇=調査検討 ×=未着手 】

5. 甲州市の魅力をも市民とともにPRする取り組みの促進

		実施期間中の実施項目		平成23年度の主な実績		H23 効果額の検証 (千円)		
			年度計画		進捗	計画	実績	
1	地域力の向上	①市民提案型事業の検討	◇	<ul style="list-style-type: none"> 市民提案型協働のまちづくり支援制度事業を制度設計し、平成24年度から実施することとしました。 空き店舗活用事業者補助事業を実施し、前年より2件増の3件の空き店舗活用を実施しました。 総務省の事業である「地域おこし協力隊」として3名を採用し、甲州市に移住し市民と交流を深める中で、市の魅力の発信を推進しました。 	○	—	—	
		②商店街の活性化	◎		◎			
		③地域外からの人材誘致	◇		○			
2	甲州市の魅力や特性のPRの促進	①市長トップセールスの実施	◎	<ul style="list-style-type: none"> 海外含め10回のトップセールスを実施し、甲州市の魅力、特産品等の情報を発信しました。 空き家バンク事業を推進し、前年比2件増の3件成約を果たしました。 シティセールス（プロモーション）事業を8回実施し、首都圏を中心に関西地方まで、甲州市の情報を発信しました。 イベント見直しに着手し、庁内の各種事業との連携について検討を始めました。 	◎	—	—	
		②空き家バンクの推進	◎		◎			
		③シティーセールスの推進	◎		◎			
		④定住人口・交流人口増加策の検討	◇		◇			
3	インターネットを活用した情報発信	①積極的な県内外への情報発信	政策秘書課	◎	<ul style="list-style-type: none"> 市長トップセールスによる情報発信を行いました。 季刊観光情報誌等に甲州市の魅力等を掲載し、誘客を推進しました。 市長トップセールスによる情報発信を行いました。 ホームページ及び観光パンフレットの外国語（英、中、韓）対応化を実施しました。 	◎	—	—
			観光交流課	◎		◎		
		②海外への情報発信	政策秘書課	◇		◎		
			観光交流課	◎		◎		

■まとめ

平成23年度における行政改革の取組結果については、財政的な面を見ますと、目標金額をクリアするものの、これまでの効果額ほどに大きな金額とはなっておりません。これは、財政的な効果が考えられる事業項目にあっては、すでに第1次行政改革推進プログラムに基づき取り組みが進められて来たことによります。第2次行政改革においては、こうした状況を予測するなかで、『量の改革から質の改革へ 市民協働で改革を推進』を基本施策に掲げ、より住民の視点に立った協働のまちづくりに関する項目を推進することとしています。

現在、第一次総合計画の見直し作業を進めていることから、総合計画・行政改革大綱・政策評価の連携による総合的な行政マネジメントシステムの方法を検討していきたいと考えております。

今後におきましても、第2次行政改革大綱に基づく実施計画の進行管理を徹底し、計画の着実な推進と、更なる改革への取組みを進めてまいります。

第2次行政改革推進プログラムの平成23年度評価においては、職員の事務量の軽減を目的として、事務事業評価シートを活用して、行政改革報告書といたしました。該当する評価シートがないものについて、新たに作成することとしたことから、通常の事務事業評価シートでの集計にあっては行革取組事項が明確に記載されていないものもあり、実際の進捗及び効果額については、個別に各課から聞き取り調査を行うとともに関係資料の提出を受けました。

結果として、事務が煩雑になった感も否めませんので、平成24年度の評価にあっては、行政改革取組事項評価シートを作成するなど、新たな手法を検討したいと思います。

第2次甲州市行政改革推進プログラム
平成23年度取組成果報告書